

広報させぼ 情報カレンダー 05. 3月



日	月	火	水	木	金	土
		1 新入学児童の交通安全教室 ~4月7日 子ども予防接種週間~7日	2 中小企業金融公庫出張相談	3	4	5
6 ウサギの飼い方教室 心の健康づくりフェスティバル	7	8 子どもにやさしいまちづくり講演	9	10 発明相談	11	12 自然観察エクスクル、動物獣舎探検隊(26日も)、水族館半日飼育体験(26日も)
13	14 出前保育「みんなよっといー!」	15	16 西海国立公園指定50周年記念日、市立中学校で卒業式、市立総合病院の健康教室	17 市立小学校で卒業式	18	19 佐世保市エコリズムキックオフイベント~20日 世界のナマズ展~5月31日
20 春分の日 春の花まつり~21日、市民セミナー「どうなる障害者の生活」	21 振替休日 学術の集い「休日キャンパス」	22	23	24 国民健康保険の夜間相談(日曜相談は27日)	25	26 西海橋桜まつり~4月12日
27 エコプラザとさせぼ市民活動交流プラザのオープン、100年の森を創る植樹祭	28	29 動植物画スケッチ大会~4月5日	30 春休み「おりがみ教室」	31		
毎月第1水曜 中小企業金融公庫出張相談 (13~15時、佐世保商工会議所)	毎月第2金曜 発明相談(10時~15時30分、市役所商工労働課)	4月の主な行事予定 4/1 不動産鑑定士による無料相談会 4/2 佐世保市・吉井町・世知原町合併記念式典 4/6 西海橋・観潮会ウイーク~12日 4/7 市立中学校で入学式 4/8 市立小学校で入学式				

テレホンガイド

救急・火災
医療機関案内 ☎23-8199
火災情報 ☎0180-999-999

エイズ相談・性感染症相談
専用相談電話 ☎0120-104-783
Eメールアドレス shc783@city.sasebo.lg.jp

教育相談
青少年教育センター ☎22-0077
(毎月第2、4木曜の17時30分~20時30分には、夜間相談も受け付けます)

女性相談
スピカ ☎24-6180
(水曜と祝日を除く毎日、9時~16時)

3月の健康テレホン
県保険医協会 ☎23-4300
3分間のテープで、祝日は前日の内容が流れます

月 血圧はどこまで下げたらよいか
火 股関節の痛み(変形性股関節症について)
水 子どもの救急シリーズ 夜のせきこみ
木 目の痛み 金 入れ歯が合わなくなった
土、日 女性の下腹痛

人のうごき (2月1日現在)

総人口 238,834人 (+1)
男 112,439人 (+36)
女 126,395人 (-35)
世帯数 94,034世帯(+44)

1月中のうごき

転入 621 転出 567
出生 185 死亡 238

見て、聞かせせぼ 市政だより

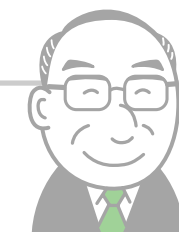
テレビ 毎週土曜日放送(約5分間)

NBC(9時25分) NIB(11時25分)
NCC(11時40分) KTN(17時25分)

ラジオ

NBC 毎週日曜日 9時10分
FM長崎 毎週火曜日 9時05分

長崎新聞 毎月第2、4水曜日広告欄



こんにちは市長です。

新しいごみの出し方がスタート

ことし1月10日から、指定ごみ袋にごみ処理券を張ってごみを出す、新しいごみの出し方が始まりました。市民の皆さんもあらかじめ勉強して、この日に備えていただいたことでしょうか。わが家でも、開始を前にしていざとなると、分別に戸惑う面もあり、あらためて夫婦二人で、「これは資源物だね」、「これは燃やせないごみだね」、「刺し身のトレーは?」などと、新方式のおさらいに1週間くらいかかりました。

1月10日から約1カ月間の新方式によるごみ収集結果は、次のとおりです。まず、「燃やせるごみ」は昨年同月に比べ約30%減量できました。目標は年間15%減ですから、このまま減量が続けば大きな成果となるでしょう。しかし一方では、「燃やせないごみ」は不適正排出が約50%と不成績でした。どうもこのごみは、ごみ処理券を張った指定袋でなくてもよいと勘違いされた方が多かったようです。市では、説明不足だったという反省に立って、あらためて広報紙や報道機関を通じて啓発などに努めることにしました。新制度が市民の皆さんになじむまでには、まだまだ時間が必要かもしれませんが、みんなで根気よく頑張りましょう。

佐世保市長 光武 顕



せいがん 晴眼の喜び (知見寺町)

知見爾神社入口に観音堂があり、脇に羽織袴に威儀を正した石の肖像があります。石の仏さんはい多いのですが、人物を石で刻んだものはあまり見かけません。この人物は前川藤二さんで、像が建てられたのは昭和4年。「賜目明万世に礼拝す 年77歳」と書かれているように、眼病で一時失明し、観音さんに祈願した結果、目が見えるようになった喜びと感謝を表した像です。すぐ近くに、藤二さんの孫に当たる清司さん(99歳)がご健在です。「この石像は父の藤次平が建てました。私は石像が建てられた年に養子として前川家に来ましたので、祖父の目が見えるようになった喜びようをはっきり覚えています」と話す清司さんは、めでたい「白寿」を迎



えたとは思えないお元気な様子でした。丸顔のふくよかな表情の石像は、高さ1メートル。羽織の左胸には「晴眼」の文字が書かれ、きちんと前でそろえた両手、小さく結んだ口もとからは仏の慈悲に感謝する信心深い思いがよく読み取れます。

知見寺町は佐世保地域の最北部で、4月1日に合併する世知原町との市境の町です。

町名は廃寺となった寺にちなみ、神社名の知見爾は寺の字を変えたものです。標高300~400メートルの高地で、近くにはゴルフ場もあります。3月末まで市境となる板山峠を越えると世知原町上野原免に出ます。板山公園には展望台もあって九州自然歩道へと続き、さらに公共の宿「山暖簾」から北松県立公園の国見山に連なる自然探索に持ってこいの高原ラインです。(筒井隆義)

